

生田サロンのお誘い

日時：6月10日(金曜日) 12:30~13:30

場所：A館4階 A401室

環境配慮型「グリーンデバイス」で 循環型・低炭素社会の実現に貢献する！

電気電子生命学科 勝俣 裕 先生

世界規模で進む“循環型・低炭素社会”の実現に向けて、様々な電子産業分野で「グリーンデバイス」と呼ばれる環境負荷の軽減に配慮した技術や製品が注目されています。オプトバイオエレクトロニクス研究室では、資源が豊富で安全な原料を用い、Siナノ粒子可視発光体やAlN青色発光体、FeSi₂太陽電池ならびに熱電変換素子等、材料とそのデバイスプロセスに関する研究開発に取り組んでいます。サロンでは、これらの研究事例や市場動向を紹介し、グリーンデバイスにおける現状の課題と将来展望について述べます。

このたび、理工学部・理工学研究科研究委員会の主催で、「生田サロン」を開催することになりました。この会は、生田キャンパスに集う教員や学生が、日頃の研究の成果を紹介し、それについて皆で自由に気軽な議論の輪を広げようというものです。「顔見知りだが話をしたことのないあの先生が、実はこんなに面白い研究をしていたのか！」というような出会い・発見の場が提供できれば幸いです。もしかすると、分野を越えた交流をきっかけにして、共同研究の種が生まれるかもしれません。

第2回目は、2010年4月に理工学部に加わったフレッシュなお二人の先生に、お話をお願いしました。素人にもわかるよう平易な解説をお願いしてあります。皆様、ぜひお誘いあわせのうえご参加ください。また、各研究室の学生さんにもご周知ください。

研究委員会 委員長 立川真樹

レッツダンピング！ ～揺れを揺れでもって制する

機械情報工学科 松岡 太一 先生

主に振動に関する研究を行っています。
例えば地震による建造物の揺れ、風による振動、交通振動、機械振動など身の回りにたくさんあります。それらの対策はまだ十分とは言えません。そこで当機械力学研究室では、振動を抑える装置“ダンパ”を研究しています。地震時の長周期振動に対応したセミアクティブダンパや、鉄道架線の振動低減技術、また振動発電など実用化を目指した研究を通してものづくりを伝えていければと思っています。